



(3) 食育への関心、実践

項目	アンケート結果(主な意見)	結果の考察
食育への関心	『関心がある』:89.3% (非常に関心がある:28.7%、どちらかといえば関心がある:60.6%) 『関心がない』:10.6% (あまり関心がない:10%、まったく関心がない:0.6%)	全体で約9割(89.3%)の人が食育に『関心がある』が、『食育活動を実践している』人は約半数(47.1%)であった。 関心のある食育活動では「子どもへの食育(73.3%)」「病気の予防や改善などの健康づくり(71.4%)」が7割以上である。
食育活動の実践	『実践している』:47.1% (積極的にしている:7.7%、できるだけするようにしている:39.4%) 『実践していない』:52.9% (あまりしていない:27.9%、したいと思っているが実際にはしていない:22.3%、したいとは思わない:2.7%)	食育を「関心」から「実践」に繋げるためには、わかりやすい食育の啓発と関心のある食育活動を契機とした実践の場づくりを進める必要がある。 また、食育を進めるために力を入れる対象としては「小学生」「妊産婦・乳幼児」「中学生」の順に高い。食生活が将来の疾病予防だけでなく人間形成にも大きく影響することから、学童期に重点を置いて対策を進めると同時に親の世代へも働きかけることが必要。
関心のある食育活動の内容	【子どもへの食育:73.3%】 【病気の予防や改善などの健康づくり:71.4%】 【郷土料理や食文化を伝える活動:54.8%】 【食品廃棄や食品リサイクルに関する活動:41%】 【農林漁業などに関する体験活動:27.7%】	
食育を進めるために力を入れる対象者	【小学生:84.4%】 【妊産婦・乳幼児:62.6%】 【中学生:61.7%】 【高校生:27%】	

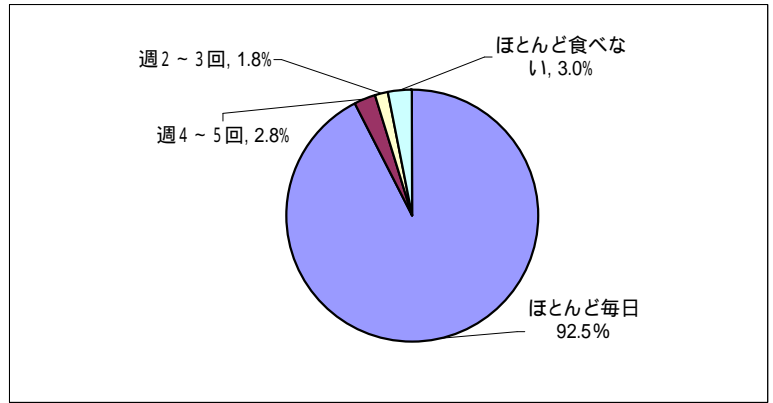
アンケート結果は、「食育推進計画～食で育む 元気なひょうご～(計画期間:H19～H23)」第2次計画策定の基礎資料として活用する。

### 3 調査結果

#### (1) 健全な食生活の実践について

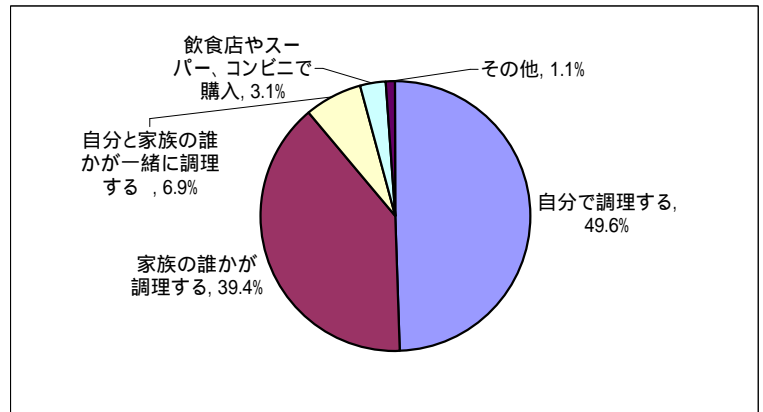
Q1 朝食を食べているか。

- |              |       |
|--------------|-------|
| (1) ほとんど毎日   | 92.5% |
| (2) 週4～5回    | 2.8%  |
| (3) 週2～3回    | 1.8%  |
| (4) ほとんど食べない | 3.0%  |



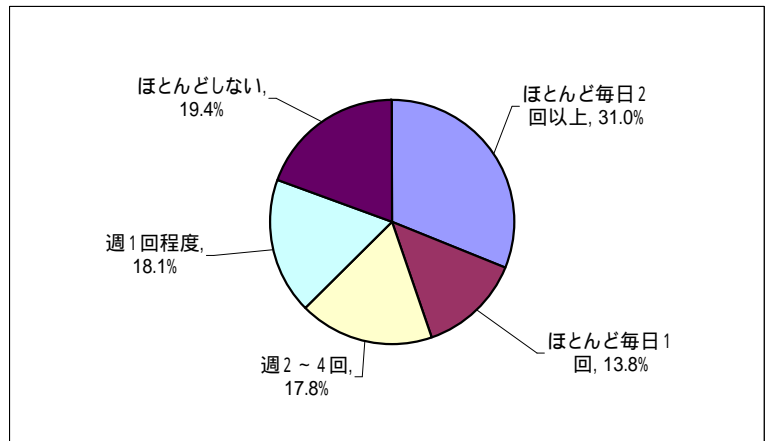
Q2 朝食は、主に誰が用意(調理)することが多いか。

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| (1) 自分で調理する          | 49.6% |
| (2) 家族の誰かが調理する       | 39.4% |
| (3) 自分と家族の誰かが一緒に調理する | 6.9%  |
| (4) 飲食店やスーパー、コンビニで購入 | 3.1%  |
| (5) その他              | 1.1%  |
| ・調理不要のものを食べる         | 11件   |



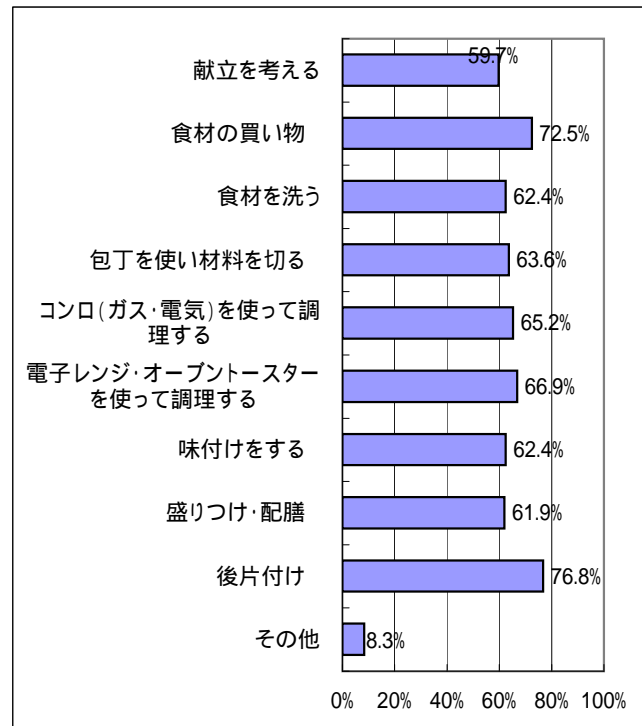
Q3 食事づくり(食材の買い物や調理など)の頻度は。

- |                |       |
|----------------|-------|
| (1) ほとんど毎日2回以上 | 31.0% |
| (2) ほとんど毎日1回   | 13.8% |
| (3) 週2～4回      | 17.8% |
| (4) 週1回程度      | 18.1% |
| (5) ほとんどしない    | 19.4% |



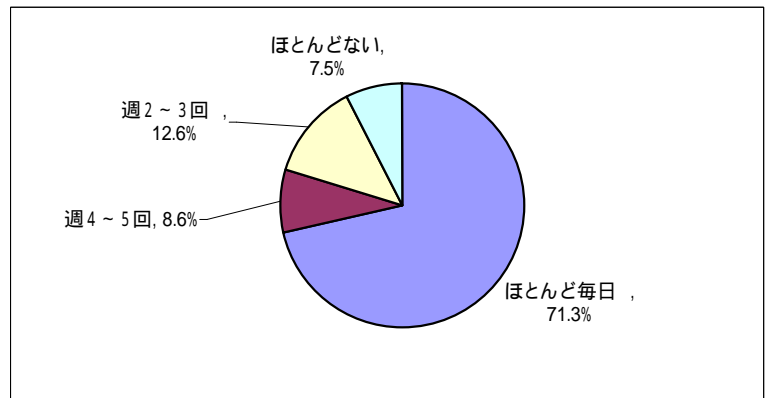
Q4 自分で行っている食事づくりの内容は。(10項目からいくつでも選択)

(1) 献立を考える	59.7%
(2) 食材の買い物	72.5%
(3) 食材を洗う	62.4%
(4) 包丁を使い材料を切る	63.6%
(5) コンロ(ガス・電気)を使って調理する	65.2%
(6) 電子レンジ・オーブントースターを使って調理する	66.9%
(7) 味付けをする	62.4%
(8) 盛りつけ・配膳	61.9%
(9) 後片付け	76.8%
(10) その他	8.3%
・自分で行わない	61件
・弁当を作る	4件
など	87件



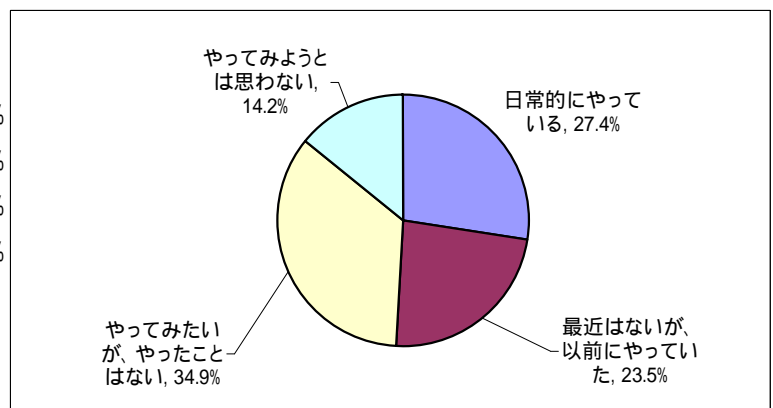
Q5 家族や友人と楽しく食事を食べる機会(1日1回以上)があるか。

(1) ほとんど毎日	71.3%
(2) 週4～5回	8.6%
(3) 週2～3回	12.6%
(4) ほとんどない	7.5%



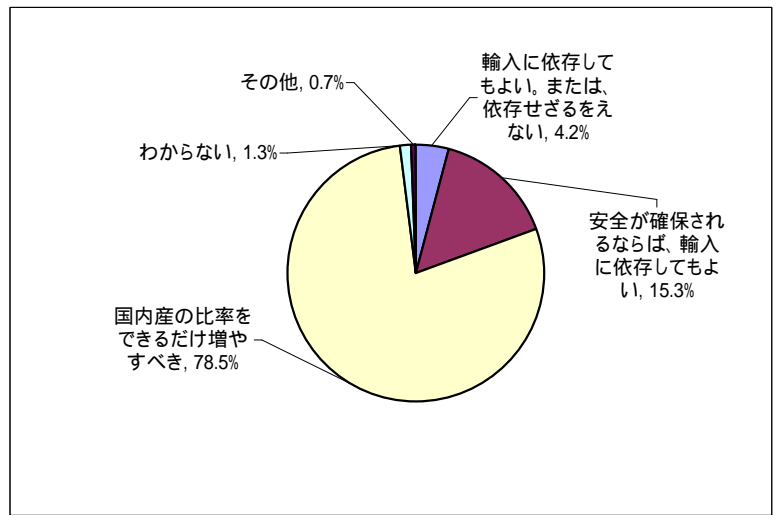
Q6 最近1年間に農作業(市民農園や家庭菜園を含む)をしたか。

(1) 日常的にやっている	27.4%
(2) 最近はないが、以前にやっていた	23.5%
(3) やってみたいが、やったことはない	34.9%
(4) やってみたいとは思わない	14.2%



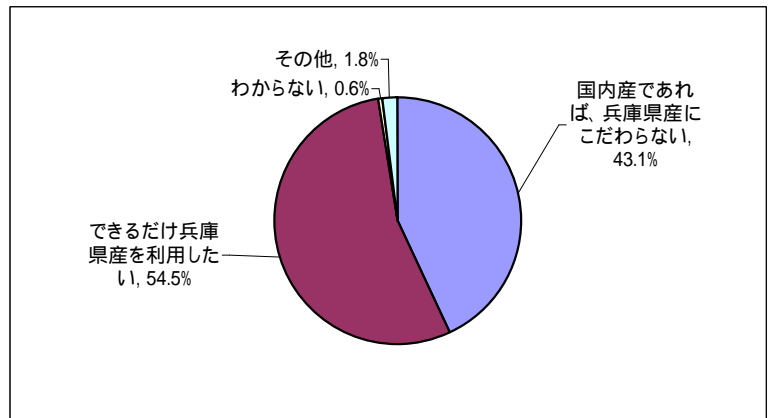
Q7 基本的な食料の確保について、どう考えるか。

- |                              |       |
|------------------------------|-------|
| (1) 輸入に依存してもよい。または、依存せざるをえない | 4.2%  |
| (2) 安全が確保されるならば、輸入に依存してもよい   | 15.3% |
| (3) 国内産の比率をできるだけ増やすべき        | 78.5% |
| (4) わからない                    | 1.3%  |
| (5) その他                      | 0.7%  |
| ・地産地消に取り組むべき                 | 1件    |
| ・輸出入のバランスが重要                 | 1件    |
| など                           | 7件    |



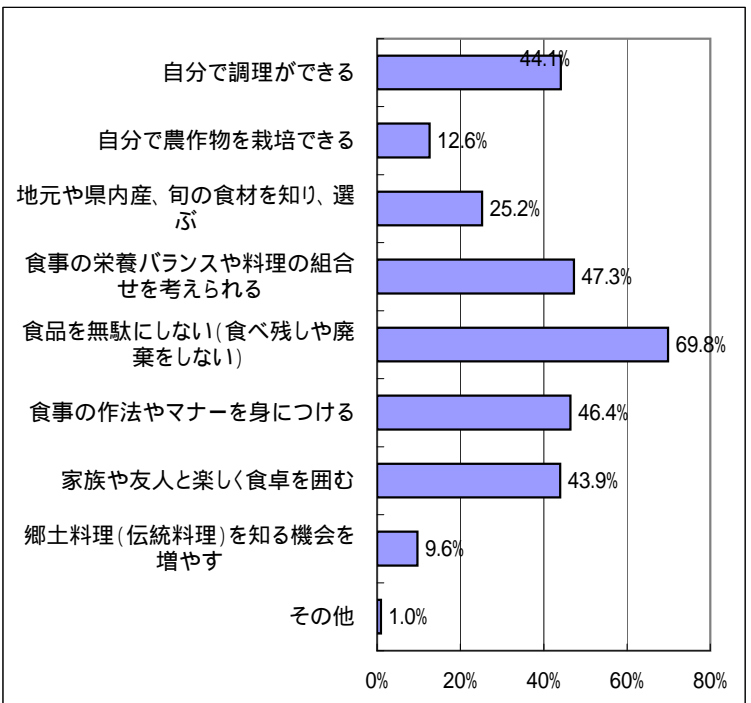
Q7-2 [Q7で(3)を選択した人に]兵庫県産についてどう考えるか。

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| (1) 国内産であれば、兵庫県産にこだわらない | 43.1% |
| (2) できるだけ兵庫県産を利用したい     | 54.5% |
| (3) わからない               | 0.6%  |
| (4) その他                 | 1.8%  |
| ・地産地消を進めるべき             | 4件    |
| ・季節に応じて使い分けたい           | 3件    |
| など                      | 15件   |



Q8 子どもの頃から習得すべき食習慣などで大切だと思うものは。

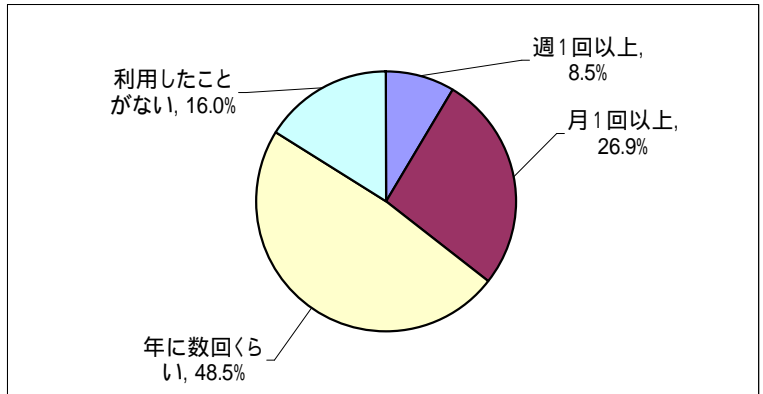
- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| (1) 自分で調理ができる              | 44.1% |
| (2) 自分で農作物を栽培できる           | 12.6% |
| (3) 地元や県内産、旬の食材を知り、選ぶ      | 25.2% |
| (4) 食事の栄養バランスや料理の組合せを考えられる | 47.3% |
| (5) 食品を無駄にしない(食べ残しや廃棄をしない) | 69.8% |
| (6) 食事の作法やマナーを身につける        | 46.4% |
| (7) 家族や友人と楽しく食卓を囲む         | 43.9% |
| (8) 郷土料理(伝統料理)を知る機会を増やす    | 9.6%  |
| (9) その他                    | 1.0%  |
| ・栽培、採集の機会を持つ               | 3件    |
| など                         | 10件   |



( 2 ) 農産物直売所、食の健康協力店の利用、飲食店への期待について

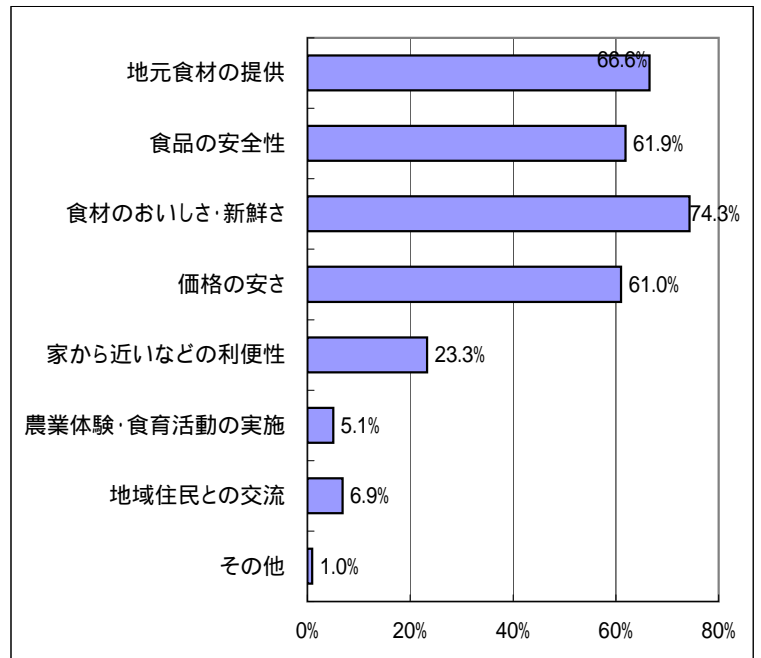
Q9 この1年間に農産物直売所(道の駅なども含む)を利用したことがあるか。

- |               |       |
|---------------|-------|
| (1) 週1回以上     | 8.5%  |
| (2) 月1回以上     | 26.9% |
| (3) 年に数回くらい   | 48.5% |
| (4) 利用したことがない | 16.0% |



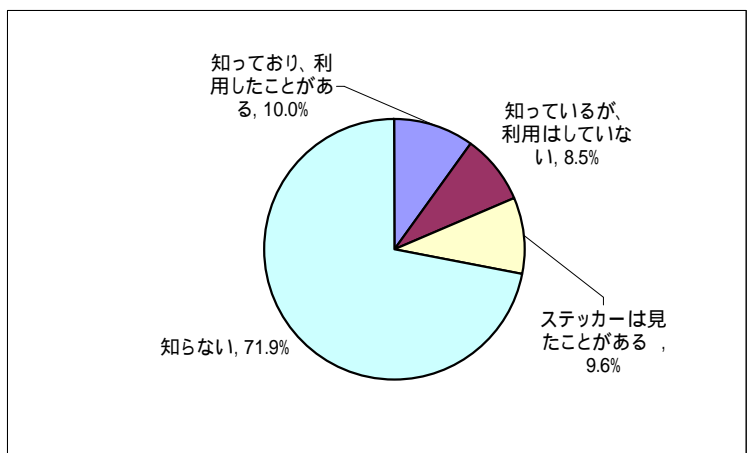
Q10 農産物直売所に、あなたが期待することは。

- |                  |       |
|------------------|-------|
| (1) 地元食材の提供      | 66.6% |
| (2) 食品の安全性       | 61.9% |
| (3) 食材のおいしさ・新鮮さ  | 74.3% |
| (4) 価格の安さ        | 61.0% |
| (5) 家から近いなどの利便性  | 23.3% |
| (6) 農業体験・食育活動の実施 | 5.1%  |
| (7) 地域住民との交流     | 6.9%  |
| (8) その他          | 1.0%  |
| ・生産者、生産地等の明記     | 2件    |
| など               | 10件   |



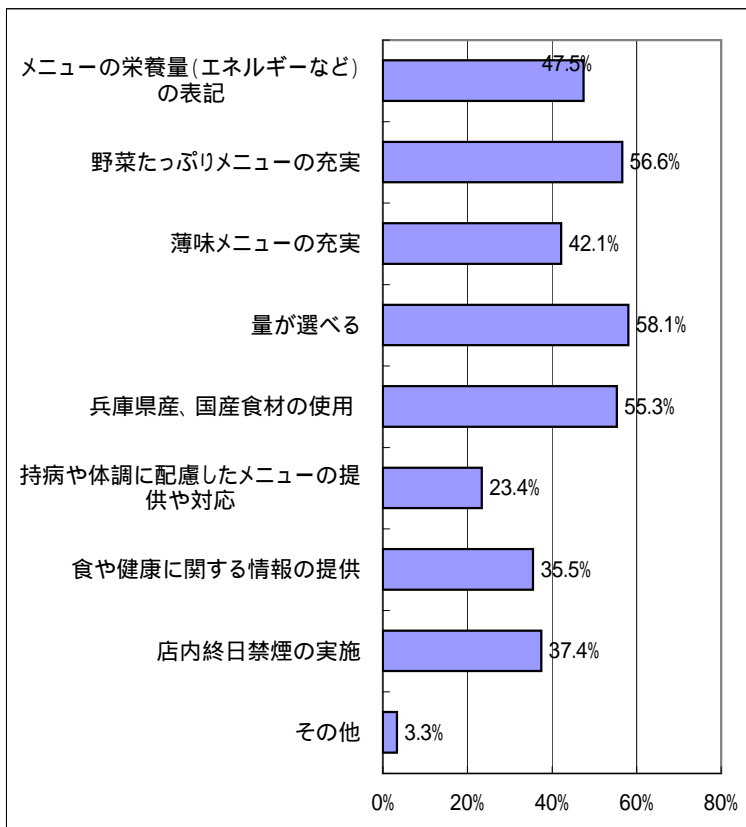
Q11 「食の健康協力店」を知っているか。

- |                     |       |
|---------------------|-------|
| (1) 知っており、利用したことがある | 10.0% |
| (2) 知っているが、利用はしていない | 8.5%  |
| (3) ステッカーは見たことがある   | 9.6%  |
| (4) 知らない            | 71.9% |



Q12 飲食店やそう菜を販売するお店に望むことは、

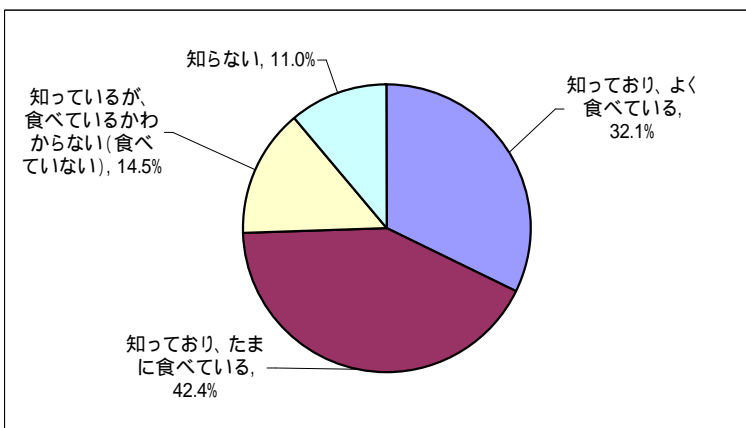
(1) メニューの栄養量(エネルギーなど)の表記	47.5%
(2) 野菜たっぷりメニューの充実	56.6%
(3) 薄味メニューの充実	42.1%
(4) 量が選べる	58.1%
(5) 兵庫県産、国産食材の使用	55.3%
(6) 持病や体調に配慮したメニューの提供や対応	23.4%
(7) 食や健康に関する情報の提供	35.5%
(8) 店内終日禁煙の実施	37.4%
(9) その他	3.3%
・味が良いこと	7件
・産地、原材料等の明確な表示	7件
など	35件



### (3) 伝統的な食文化の継承

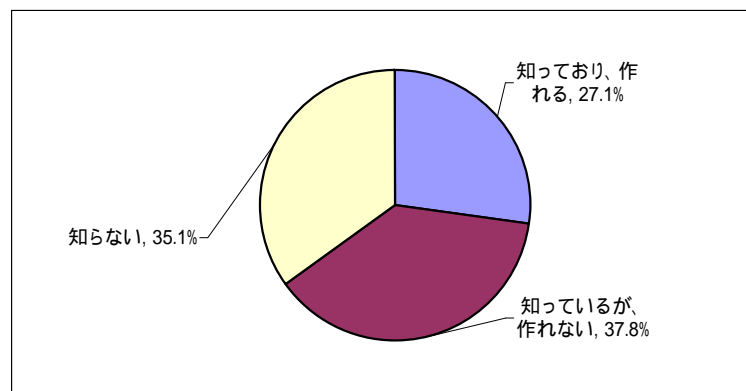
Q13 地元や県内で生産されている食材についてあてはまるものは、

(1) 知っており、よく食べている	32.1%
(2) 知っており、たまに食べている	42.4%
(3) 知っているが、食べているかわからない(食べていない)	14.5%
(4) 知らない	11.0%



Q14 お住まいの地域の郷土料理(伝統料理)についてあてはまるものは、

(1) 知っており、作れる	27.1%
(2) 知っているが、作れない	37.8%
(3) 知らない	35.1%

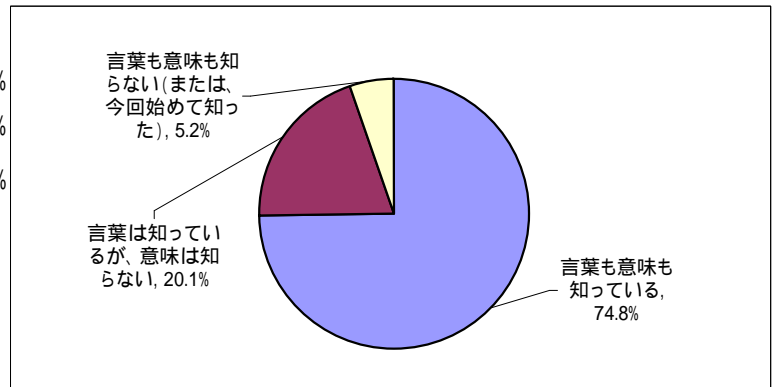


(4) 食育への関心や実践について

Q15 食育という言葉や意味を知っているか。

- (1) 言葉も意味も知っている
- (2) 言葉は知っているが、意味は知らない
- (3) 言葉も意味も知らない(または、今回始めて知った)

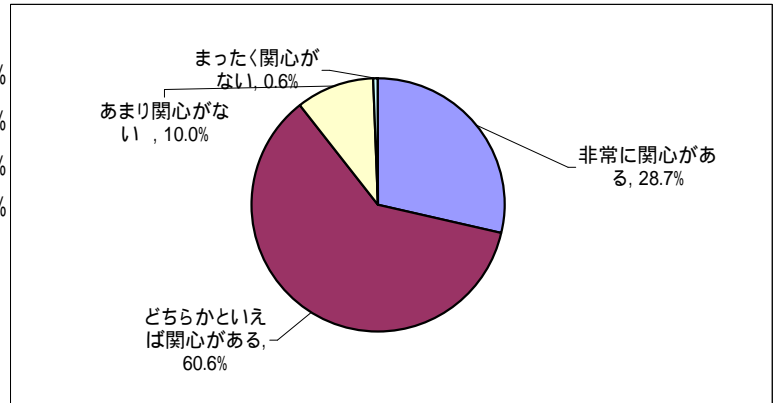
74.8%  
20.1%  
5.2%



Q16 食育に関心があるか。

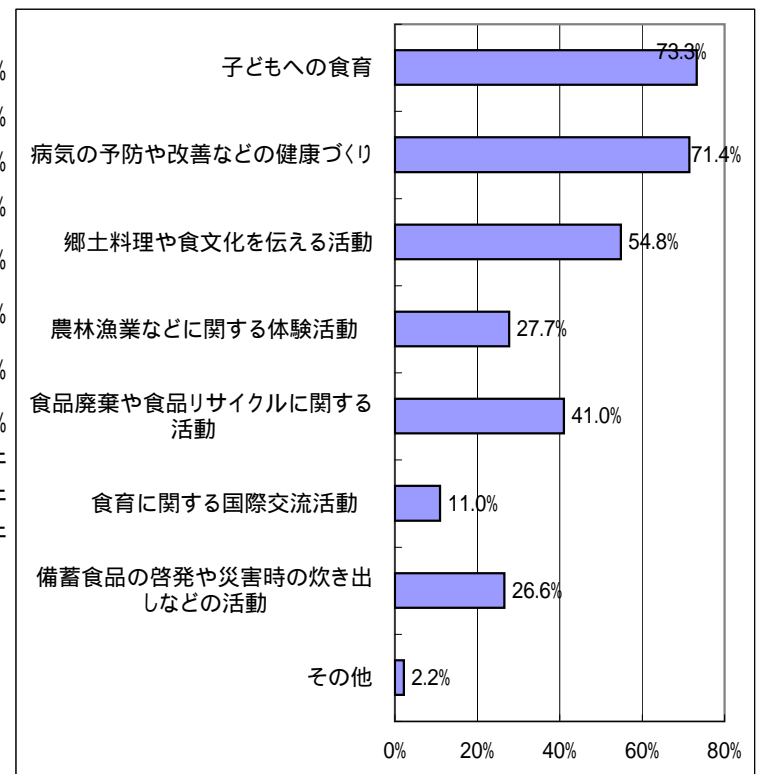
- (1) 非常に関心がある
- (2) どちらかといえば関心がある
- (3) あまり関心がない
- (4) まったく関心がない

28.7%  
60.6%  
10.0%  
0.6%



Q17 どのような食育活動に関心があるか。

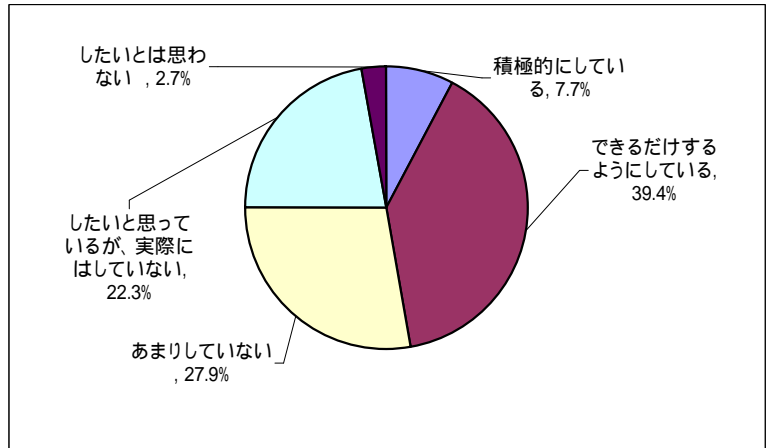
- (1) 子どもへの食育 73.3%
- (2) 病気の予防や改善などの健康づくり 71.4%
- (3) 郷土料理や食文化を伝える活動 54.8%
- (4) 農林漁業などに関する体験活動 27.7%
- (5) 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動 41.0%
- (6) 食育に関する国際交流活動 11.0%
- (7) 備蓄食品の啓発や災害時の炊き出しなどの活動 26.6%
- (8) その他 2.2%
  - ・あらゆる年齢層への食育 1件
  - ・家庭菜園を通じた活動 1件
  - など 23件





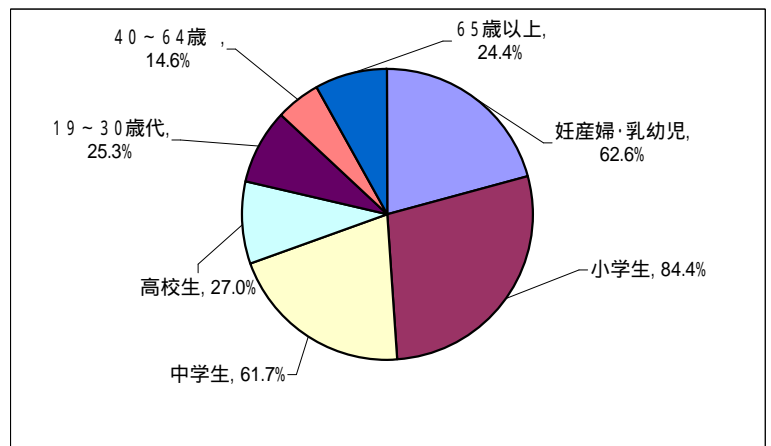
Q18(Q17の食育活動について)何らかの形で実践しているか。

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| (1) 積極的にしている             | 7.7%  |
| (2) できるだけするようにしている       | 39.4% |
| (3) あまりしていない             | 27.9% |
| (4) したいと思っているが、実際にはしていない | 22.3% |
| (5) したいとは思わない            | 2.7%  |



Q19 食育を進めるためどのような対象者へ力をいれるべきか。

- |             |       |
|-------------|-------|
| (1) 妊産婦・乳幼児 | 62.6% |
| (2) 小学生     | 84.4% |
| (3) 中学生     | 61.7% |
| (4) 高校生     | 27.0% |
| (5) 19～30歳代 | 25.3% |
| (6) 40～64歳  | 14.6% |
| (7) 65歳以上   | 24.4% |



Q20 「食」に関する兵庫県の特徴や次世代に伝えたい食生活についての自由意見

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| (1) 県産食品、郷土料理のPRが必要      | 90件  |
| (2) 地産地消の推進              | 90件  |
| (3) 伝統料理、特産品の継承          | 58件  |
| (4) 家庭での食事作りが大切          | 50件  |
| (5) 体験や学習機会の充実           | 43件  |
| (6) 野菜を中心とするなど、バランスよい食生活 | 29件  |
| (7) 食の安全性の確保、その周知        | 22件  |
| (8) 食べ物を大切にする心の育成        | 22件  |
| など                       | 494件 |

企画県民部広報課広聴室広聴係 (TEL078-362-3021)